

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公表番号】特表2013-512310(P2013-512310A)

【公表日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-017

【出願番号】特願2012-541128(P2012-541128)

【国際特許分類】

C 08 L 23/10 (2006.01)

C 08 L 23/04 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/10

C 08 L 23/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月11日(2013.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ASTM D 542に従って測定された屈折率(n1)およびASTM D 1238に従って230 / 2.16 kgで測定されたメルトフローレート(MFR)を有するプロピレン系ポリマー、ならびにASTM D 542に従って測定された屈折率(n2)およびASTM D 1238に従って190 / 2.16 kgで測定されたメルトイソデックス(MI)を有するオレフィン系エラストマーを、

【数9】

MI x 2.8 > 0.28 及び | n1 - n2 | > 0.008.
MFR

となるように選択するステップと、

オレフィン系エラストマーの粒子を前記プロピレン系ポリマーのマトリックスにブレンドするステップであって、該プロピレン系ポリマーが連続相であり、該エラストマーが不連続相であるステップと、

ブレンドを、8,000 sec⁻¹から12,000 sec⁻¹のせん断速度にかけて前記エラストマーの粒子を細長い粒子にするステップと、そして、

ブレンドを、ASTM D 1003に従って測定して約15%未満のヘイズ値を有する成形品に形成するステップとを含む方法。

【請求項2】

前記細長いエラストマー粒子が平均粒子幅の少なくとも10倍の平均長さを有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

連続相であるプロピレン系ポリマーであって、ASTM D 542に従って測定された1.495から1.505の屈折率(n1)およびASTM D 1238に従って2

30 / 2.16 kg で測定された 0.5 g / 10 min から 100 g / 10 min のメルトフローレート (MFR) を有するプロピレン系ポリマーを 60 wt % から 99 wt %

、前記プロピレン系ポリマー中に分散された、不連続相であるオレフィン系エラストマー粒子であって、ASTM D 542 に従って測定された 1.470 から 1.497 の屈折率 (n2) および ASTM D 1238 に従って 190 / 2.16 kg で測定された 0.5 g / 10 min から 30 g / 10 min のメルトイソインデックス (MI) を有するオレフィン系エラストマー粒子を 40 wt % から 1 wt % 含み、

| n1 - n2 | > 0.008 であるポリマー組成物であって、

該ポリマー組成物は ASTM D 1003 に従って測定された約 15 % 未満のヘイズ値および > 0.28 の粘度比 (VR) を有し、ここで

【数 10】

$$VR = \frac{MI \times 2.8}{MFR}$$

であるポリマー組成物を含む、射出成形品。

【請求項 4】

前記細長いエラストマー粒子が、5 nm から 200 nm の平均幅を有する、請求項 3 に記載の成形品。

【請求項 5】

プロピレン系ポリマーが有核プロピレン / エチレンランダムコポリマーである、請求項 3 または 4 に記載の成形品。